24.12.25.
(昭和33年7月10日第三種郵便物認可)

商工 あしべつ

第706号

E-mail:ashicci@cocoa.ocn.ne.jp
URL.:http//www.ashibetsu-cci.or.jp/

発行所
芦別商工会議所
芦別市南1条東1丁目10の6
TEL(0124)22-3444
発行責任者 坂田憲正
隔月(偶数月)25日発行
定価 1部 50円
(購読料は会費に含む)

年頭所感

芦別商工会議所
会頭 坂田憲正

新年明けましておめでとうございます。

平成二十五年の輝かしい新春を迎え、会員をはじめ市民各位のご健勝とご繁栄を心よりお慶び申し上げますとともに、平素、芦別商工会議所事業の推進に対しまして、深いご理解と格別のご支援ご協力を賜りましたことを衷心より厚く御礼を申し上げます。

昨年十二月に衆議院の解散総選挙が行われ、十二月十六日の投票の結果、自民党、公明党が三年ぶりに再び政権を担うことになりましたが、景気対策による日本経済の立て直しと地域経済の担い手である中小企業支援・雇用創出などを積極的に進め、希望を持てる地域社会の実現に期待するとともに、今年三月で二年を迎える東日本大震災被災地の一日も早い復旧・復興を願うところであります。

わが国経済は、十年以上にわたるデフレと超円高・株安基調の継続や欧州の財政金融不安をはじめ、電力・エネルギー問題、少子高齢化の加速、地域経済の疲弊など多くの課題を抱えており、また、景気低迷による中小企業の資金繰り悪化等への対応策としての中小企業金融円滑化法が今年の三月末で最終期限を迎えることから、業況が依然として厳しい中小企業の資金繰りに大きな影響を与えることが懸念されており、昨年十月に道商連と道内四二商工会議所が、国や道、金融機関に対し、同法終了後の中小企業向け融資制度の創設や経営改善支援など金融対策の確立を求め、更に当商工会議所では、北海道財務局理財部長との懇談においても要望を行ったところであります。

北海道は、失業率も高水準であることに加え、公共事業の削減や消費の低迷から脱却できないまま景気の更なる悪化が懸念されており、本道産業の大宗を占める中小企業は、北海道の自立的な発展と成長を目指す上で、大きな役割を果たしておりますが、しかしながら、長引く景気低迷に加え、経済のグローバル化や競争の激化などにより、中小企業を取り巻く厳しい環境下に置かれていながらも、必死の経営努力を続けております。

このような事態を打開し、中小企業が健全に発展して行くためには、地域の実情に即した実効性のある中小企業対策の拡充・強化が不可欠であります。

本道経済の自立的発展と成長を目指す上において、中小企業の果たす役割は大きく、中小企業の中でも特に大きなウエイトを占める小規模事業者においては、企業体質が脆弱であり、情報化や技術革新、国際化等の進展の中で、十分な対応が難しい現状にあり、このような中で、商工会議所はこれまでも小規模事業対策を重点事業として、経営改善普及事業等を通じ、小規模企業の経営改善・発展のため支援を行って参りましたが、小規模事業者を取り巻く状況が一層厳しさを増している中、その経営環境に即応した施策の展開が喫緊の課題となっております。

こうした中、道北一三商工会議所では、中小企業対策の推進をはじめ金融対策の強化、国道・道道の整備促進と地域振興対策など一四項目の要望事項を取りまとめ、道北商工会議所正副会頭会議や全道商工会議所大会において、国や道、関係機関に対して要望を行いました。当商工会議所からは、国道四五二号(旭川～芦別)の早期開通と整備、道道美唄富良野線の整備促進等を要望、更に、十月に開催された北海道知事等との懇談会において、重点施策項目として、冬期間における電力需給対策の推進、北海道新幹線の早期開業や中心市街地の推進、中小企業金融円滑化法終了に伴う金融対策の確立など十項目について、全道四二商工会議所の総意で要望を行いました。また、当商工会議所と芦別市議会社会産業常任委員会と意見交換を行い、芦別市の抱える諸問題等について懇談会を実施したところであります。

本市においては、人口の減少に加え少子高齢化の進展、企業の減少など地方都市の中でも産炭地特有の厳しい経済状況が続いており、長引く冷え切った経済環境の中で、地域経済の中心的役割を担う中小企業においては、さらに厳しい経営環境下に置かれており、中心市街地の各商店街や通りでは、廃業等に伴う空き店舗が増加し、昨年は、六カ所の空き店舗が取り壊され空き地となっており、その対策が課題となっております。

当商工会議所では、昨年の四月に地域内消費の市外流出を防ぎ消費の囲い込みを進めるため、オリジナルマスコットキャラクターを取り入れた地域限定商品券「どんぐり」の発行販売を実施し、芦別市の定住促進条例に基づき、市民の結婚・出産のお祝いや市民、企業団体に贈答品やイベントの景品など、当初の予定を上回る商品券の利用をいただいております。更に七月には、疲弊している地域経済の緊急対策として、市内全域における消費拡大誘導による地域経済の浮揚と活性化を図ることを目的に、芦別市の助成により二〇%の割増特典付きの第四弾プレミアム商品券「スーパーどんぐり」の販売も前年度に引き続き実施をさせていただき、地元への購買力向上と消費拡大に向けた取組みを行ったところであります。また、今年三月に地元高等学校を卒業する生徒の地元就職希望者を支援するため、地元企業との合同企業説明会を開催し、地元企業への就職支援活動を実施いたしました。

会員事業所に対しては、経営全般に亘り、相談・指導業務を実施しておりますが、市内で創業を目指す方には、開業に係る諸手続きや金融・税務・雇用・労働等に関する指導のほか、創業に向けた助成制度の指導も行っております。また、既存企業には、新製品・新技術の開発、人材育成、新分野への進出や新たな雇用創出等の事業に取り組む企業の助成制度として、芦別市企業振興事業補助金の活用を積極的に勧めております。

迎えました平成二十五年は、引き続き、地域開発と産業基盤整備対策の推進、第五次芦別市総合計画の推進、国道四五二号の早期開通と整備、道道美唄富良野線の整備促進と西芦別地区の移住定住誘致事業等について推進して参ります。

加えて、経済活力の源泉であります中小企業の健全な発展を目指し、より創造性を発揮し、地域の特性を活かした魅力ある地域づくり、まちづくりのために行政並びに芦別市議会との連携をより深め、役員・議員と事務局が一丸となって「行動する商工会議所」への転換を目指し、「地域総合経済団体」として最大の努力を傾注して参りますので、商工会議所活動に対する一層のご理解とご支援ご協力をお願い申し上げ、本年も会員並びに市民の皆様にとって実りの多い一年となりますよう心から祈念を申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

年頭にあたって

芦別市長 清澤茂宏

商工会議所の会員の皆様、明けましておめでとうございます。

平成二十四年の新春をお健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、市政各般にわたり特段のご高配とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を顧みますと、竹島や尖閣諸島の領土問題、日本全国の原子力発電所の稼働停止、室蘭市で最大瞬間風速三九・七メートルを記録した暴風雪による道南地区四万一千戸に及んだ大停電など暗い話題があった一方、日本史上最多の三八個のメダルを獲得したロンドンオリンピックや京都大学山中伸弥教授がiPS細胞(人工多能性幹細胞)でノーベル医学・生理学賞を受賞、世界一高い自立式の電波塔である東京スカイツリーの開業、北海道日本ハムファイターズが三年振り六度目となるパリーグ優勝など明るい話題もありました。また、年末に実施された第四十六回衆議院議員総選挙では新政権が誕生し、今後日本の景気回復、雇用対策、社会保障と税の一体改革、被災地の復興、環太平洋連携協定(TPP)等、諸問題に取り組まれることとなりますが、ぜひ日本の未来を明るくしていただきたいと思うと同時に、市としても、私が上京の折には、道内選出の国会議員の皆様にお会いし、芦別の現状や将来像をお伝えし、より良い芦別のまちづくりに向け、お願いしてまいる所存です。

さて、早いもので市長に就任してから二度目の新年を迎えることとなりました。昨年も、「人と経済」をキーワードに掲げ、各種施策を進めながら、一方で関係省庁・民間企業・各団体を問わず、トップセールスに邁進し芦別を取り巻く人脈づくりに励んでまいりました。おかげさまでその芽は着実に出始めたとの手ごたえを感じているところであり、今後におきましてもそれを開花させるべく、私の政治姿勢としてトップセールスを継続してまいりたいと考えております。市政の動きとしては、STVラジオ「Yo!Hey!サンデー!」の公開放送を道の駅で開催したほか、被災地支援として、星槎グループと市が共催し福島県相馬市近隣の小学生を夏冬合わせて約五十名を受け入れたほか、全国市長会の要請に応える形で十月より芦別市職員二名を宮城県山元町に派遣しております。また、政策面では、九月議会に企業振興促進条例及び企業振興事業補助金の一部改正と新規学卒者等雇用奨励金交付条例、ふるさと就職奨励金交付条例を提案させていただき可決いたしました。早速この新条例をもとに道内外の企業に職員を訪問させPRに当たらせたところですが、この制度が活用され、市内経済の活性化につながることを期待してやみません。

本年は、市制六十周年の記念の年を迎えます。十月十九日に記念式典を行うほか、関連事業も実施すべく準備を進めています。また、昨年北海道日本ハムファイターズの企画による北海道一七九市町村応援大使として、同球団の武田久投手と矢貫俊之投手の二人が今年一年、芦別市の応援大使として協力していただけることになりました。このチャンスを生かし「あしべつ」を道内外に積極的にPRしていきたいと考えております。

商工会議所様には、昨年念願の地域限定商品券「どんぐり」の販売を開始され地元経済の活性化を図っていただいたほか、昨年芦別市優良勤労者等表彰及び芦別商工会議所会員従業員表彰授与式が市との合同授与式に復活いたしましたが、事業の改革・改善に努められ心から敬意と感謝を申し上げるところです。

結びに、今後とも市政各般にわたり、会員皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、ますますのご多幸と、ご発展を心からお祈り申し上げ、年頭にあたってのごあいさつといたします。

年頭所感

日本商工会議所
会頭 岡村正

平成二十五年の新春にあたり、謹んでご挨拶申しあげます。本年が日本再生へ力強く踏み出す一年であることを心より祈念いたします。

■「決める政治」のもと 産業の競争力強化を

二〇一二年はわが国をはじめ米国、中国など、世界経済に影響力のある国々が新たな指導体制に移行した年でした。本年は各国が協調し、日本、欧州、米国、新興国のそれぞれにおいて、力強い経済発展が実現されることを期待したいと思います。

しかし、現下の世界経済は減速懸念が強まる状況にあります。欧州の財政金融問題は当面の危機は回避しているものの、経済不安は依然くすぶり続け、また、米国の財政問題や新興国の成長力鈍化など不安材料も多く、今後も注意深く見守る必要があります。国内経済も十年以上にわたるデフレにより国内市場は縮小し、GDP(国内総生産)も減少し続ける中、長引く円高やエネルギー供給制約など企業経営を圧迫する要因も重なり、景気後退局面との見方も強まっています。

こうした中、昨年末の選挙を経て発足した新たな政権には、強いリーダーシップによる「決める政治」のもと、成長戦略の着実な実行、なかでも私どもが求め続け、その柱に位置づけられた中小企業戦略を強力に進めることを強く期待します。「科学技術創造立国」、「文化立国」を旗印に、官民あげて成長分野へ集中的投資を行い、国内需要を喚起しながら、世界を牽引する気概を持って産業のイノベーションを巻き起こす政策を断行するときです。

■被災地復興と「攻め」の中小企業政策を

東日本大震災から間もなく二年が経過しようとする中、被災地復興と福島の再生は遅々として進まない状況にあります。震災の記憶を風化させず、国内需要を拡大させるためにも復興のスピードを上げなければなりません。被災地の復興が日本の再生の第一歩であることを改めて強く認識する必要があります。商工会議所では具体的な活動として遊休機械の無償提供事業や被災地域産品の販路開拓支援事業などを展開していますが、今後も復興の支援活動を継続的に展開してまいります。

また、わが国の国民生活や企業経営を左右する重要課題については、その解決に一刻の猶予もありません。国家の命運を握るエネルギー政策、給付の重点化・効率化策の多くが先送りされた社会保障と税の一体改革、価格転嫁対策などの課題が残る消費税増税、早急な決断が求められるTPP(環太平洋経済連携協定)への交渉参加問題、企業の海外進出などの加速に伴う国内産業の空洞化や雇用の減少など、今後の経済社会にとって極めて重要な課題ばかりです。

日本経済を成長させる原動力は中小企業のダイナミズムです。中小企業の「成長」を促す視点を踏まえた起業・創業や販路開拓、海外進出支援、人材供給・育成など「攻め」の政策が必要です。中小企業の支援ニーズは多様かつ成長段階に応じて異なりますが、我々としてもきめ細かく、より踏み込んだ具体的な支援策を政府などへ強く働き掛けてまいりたいと存じます。

日本商工会議所でも全国の商工会議所間のネットワークをさらに強固にし、これら直面する諸問題の解決に向けて全力でまい進してまいります。

■よりよい経済社会を次の世代に

高度成長の象徴として一九六四年に開催された東京オリンピックから五六年の時を経て、二〇二〇年オリンピック・パラリンピックの招致が実現するならば、東日本大震災という国難を乗り越え、日本経済再生に向かう大きな目標となります。この三月にはIOC(国際オリンピック委員会)評価委員会が来日、最終調査を実施し、九月七日にIOC総会で開催都市が決定します。まさに最終決戦となりますが、日本中に勇気と希望を与え、未来を担う子供たちの健全な育成のためにも、全力を挙げて勝ち取りたいと存じますので、全国の皆様の熱いご支持をお願いいたします。

今日の日本は閉塞感の中にありますが、我々には将来の世代に対してよりよい経済社会を創り、襷を渡していく責務があります。長年にわたり積み残してきた課題に勇気を持って切り込み、日本経済の再生を果たしながら、五十年、百年後の社会発展の基盤を再構築しなければなりません。絶え間ない「イノベーション」への挑戦により閉塞感を打ち破り、日本経済の再生と持続可能な経済社会の実現を果たすため、本年も皆様とともに前進していく決意であります。皆様の一層のご支援とご協力を心からお願い申しあげます。

年頭所感

北海道商工会議所連合会
会頭 高向巌

平成二十五年の新春に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年わが国は、内政・外交ともに逼迫した状況にある中、政権交代という大きな決断が下りました。新内閣には、わが国の山積する課題に対し、機動的かつ実効ある対策を講じ、未だ道半ばにあります大震災被災地の復興と、日本経済の再生を一日も早く実現するよう強く期待しております。

北海道にとりましては、昨年六月、道民の悲願でありました北海道新幹線札幌延伸が漸く認可・着工するという大変嬉しい出来事がございました。これまでご尽力賜りました関係者の方々、応援してくださいました皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

北海道新幹線は、平成二十七年度に新函館(仮称)駅が開業となります。これを機会に、道南地域の街づくりを契機とした将来ビジョンを描き、北海道経済全体の活性化につなげていきたいと考えております。

さて、北海道経済は、個人消費が低迷する中、公共事業の削減や外交問題の影響による外国人観光客の減少、さらには景気の先行き不安等と相俟って、悪化の一途を辿っております。

特に、三月に期限を迎える金融円滑化法終了により、倒産の多発など中小企業に大きな影響を与えることが危惧されております。我々商工会議所といたしましては、昨年より特別相談窓口を設置するなど、中小企業の経営安定化に努めておりますが、今後、支援体制を強化し、全道商工会議所が一丸となってこの問題に取り組んで参る所存であります。

また、本道の基幹産業である食関連産業や観光産業については、新幹線の開業を見通し、道内企業の一層の奮起を期待するとともに、北海道全体がレベルアップしていくために、海外市場開拓の向けた支援体制を強化して参りたいと考えております。

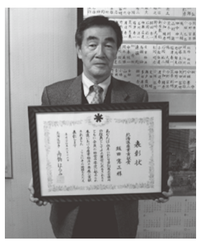
今冬の北海道は、七%以上の節電要請の取組みが進められておりますが、エネルギーの安定供給確保が喫緊の課題となっております。北海道の特性を活かした風力発電、太陽光発電、雪氷冷熱やバイオマスなどの環境負荷の少ないクリーンエネルギーの導入や省エネ・新エネビジネスの誘致・育成に積極的に取り組み、新たな需要や雇用の創造につなげていきたいと考えております。

このように北海道全体が大きく変化している中、地域の総合経済団体である我々商工会議所が、「役に立つ商工会議所」として気概を持ち、中小企業とともに創意工夫を重ね、本年も積極的に行動して参りたいと存じます。

皆様のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様にとって実り多い一年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

坂田会頭 北海道産業貢献賞を受賞!



去る11月16日、札幌市において平成24年度北海道産業貢献賞の贈呈式が開催され、当商工会議所の坂田憲正会頭(日成建設㈱代表取締役社長)が受賞されました。

坂田憲正氏は、昭和63年に商工会議所の議員に選任、平成3年に常議員に就任し、平成22年からは会頭を務め、この間、企業誘致活動や企業振興事業に尽力した。特に、商工会議所が中心となり、中小企業の育成・発展に資するため、「芦別市企業振興基金」制度を活用した「新製品・新技術の開発」・「人材育成」・「新規開業」など地域産業活性化事業に取組む企業、団体への助成と「住宅改修促進助成事業」に係る経費の一部を助成し、商工業並びに地域経済の活性化のため支援事業を行うなど、商工会議所活動を通じて本道の産業経済の発展に貢献した功績が認められ、この度、北海道産業貢献賞の受賞となりました。

平成24年度 会員従業員表彰授与式開催

去る十一月二十一日、当商工会議所において、坂田会頭から今年度の会員従業員の勤続表彰の授与を行いました。

毎年、当商工会議所では、会員従業員表彰規程に基づき企業における従業員の功績や勤続及び善行に対し表彰を行っており、また今年は芦別市優良勤労者等表彰と合同での開催となりました。

授与式には受賞者と事業所の代表者が出席して開催され、今年は申請のあった会員事業所のうち、日本商工会議所会頭と当商工会議所の会頭による連名で表彰される勤続三十年以上の受賞者が二企業からの四名が表彰され、また当商工会議所と事業所からの連名表彰は、勤続二十年五名、勤続十年五名、計十四名の方々が受賞され、坂田会頭から表彰状と記念品が授与されました。受賞された方は、次のとおりです。

勤続30年で受賞された真田利恵子さん (左)(中野記念病院)

芦別商工会議所会員従業員表彰者
(順不同・敬称略)

【日本商工会議所会頭表彰】
○永年勤続30年(4名)
真田 利恵子・草間 由紀路
中谷 義晴
(医療法人 仁恵会 中野記念病院)
米林 寛 (米林鐵工)

【芦別商工会議所会頭表彰】
○永年勤続20年(5名)
山内 康祐・千葉 薫 (日成建設㈱)
岩瀬 奈緒美・須藤 悦子 (学校法人 市村学園)
小川 秀樹 (滝澤ベニヤ㈱)

○永年勤続10年(5名)
谷上 敏春・木村 真一 (滝澤ベニヤ㈱)
下牧 のぞみ (セントラル旅行サービス㈱)
長船 厳 (芦別鉱業㈱)
氏家 誠一 (あしこう産商㈱)

謹賀新年

専務理事 大下 睦夫
常議員 小林 孝二 山本 隆
道島 尚光 矢田 富明 林 守
浅井 富雄 林 秀樹 吉井 忠
高瀬 紳 門田 岩雄 遠藤 均
監事 平野 貢 真鍋 秀之 渡辺 昭宏
議員 中本 純一 吉岡 隆広 神野 一民
松岡 明彦 田中 一廣 野原 彬
岡本 義勝 今野 富男 小塚 弘昌
嶋 大輔 田中 伸一 山村 進
荒木 則明 小畑 陽彦 新屋敷 聡
野崎 光男 櫛田 秀一 石岡 祐二
柳瀬 広道 石川 洋一 稲津 寿一
荒川 忠義 渡辺 寿一 瀬戸 俊郎
定田 明 小松 弘道 多田 康司
坂井 大樹 植田 宏 竹内 郁夫

謹賀新年

(社)滝川地方法人会 芦別支部
支部長 滝澤量久
女性部会長 石川睦子
芦別青色申告会
会長 荒木則明
女性部長 米林順子

年始業務について
当会議所の年始業務は次のとおりです。
1月7日(月)午前9時から

金融相談会のご案内

景気の回復が十分でない中、平成25年3月末に中小企業円滑化法の期限が到来することを踏まえ、厳しい経営環境に置かれている中小企業者等の金融及び経営の相談会を次のとおり開催いたします。

事業資金や教育資金につきましても相談をお受けいたします。

相談日 平成25年2月19日(火) 11時～15時
会場 芦別商工会議所 大会議室
相談員 日本政策金融公庫 札幌北支店 融資担当者
北海道信用保証協会 滝川支所 担当者

※ご相談をご希望の方は、事前に芦別商工会議所までご連絡ください。
(お問い合わせ・ご連絡先)
芦別商工会議所 TEL0124-22-3444

金融懇談会を開催

去る十二月十七日(月)、都会館において、㈱日本政策金融公庫札幌北支店国民生活事業と当商工会議所による「金融懇談会」が開催されました。

懇談会には、㈱日本政策金融公庫札幌北支店国民生活事業から支店長中澤浩氏、融資第二課長堀井伸一氏を招き、会議所からは、坂田会頭をはじめ三役と金融・審査特別委員会委員長・副委員長・委員、常議員の十二名が出席して行われました。

中澤支店長から、日本経済の現状や最近の金融情勢・経済動向等について講話をいただき、また、堀井融資第二課長から公庫業務の内容についてご説明をいただきました。その後、出席者同士による意見や情報交換が活発に行われ、金融懇談会を終了しました。

「星の降る里・夢まるごと芦別!『ドリームフェスタ2012』」
―抽選所開き―

特賞に現金10万円をはじめ、盛りだくさんな景品・先着プレゼントを取り揃え、12月1日から始まった「星の降る里・夢まるごと芦別!ドリームフェスタ2012」の抽選所開きが、今年から抽選場所を曙通り商店街のよねた酒店とアサヒ堂の間に設けて、12月24日に行われました。芦別商工会議所の坂田会頭と年末大売出し実行委員会の土山実行委員長が特賞の当たりくじを抽選箱に入れ、1月3日までの10日間(元日は休み)の抽選が始まりました。

抽選所オープンを待つお客様の行列

今回は、昨年よりも景品本数を増やし、また、先着プレゼントも初日に100名様、2日目から50名にキャラクター「ドングリー」の焼印を押した「特製紅白まんじゅう」「特製どら焼き」「地産卵」、更にエコバックをつけて日替わりプレゼントと盛りだくさんの企画内容に抽選会場は、初日から多くのお客様で賑わいを見せ、抽選所がオープンして1時間も経たないうちに特賞10万円が幸運なお客様に当たりました。午後4時には、もう一本特賞が当たり、抽選所オープン初日から特賞10万円が2本当たりました。

抽選会場内は、当たりクジが出る度にどよめきが起こり、くじを引くお客様で賑わっていました。

挨拶を行う坂田会頭

特賞10万円を見事引き当てたラッキーなお客様!
使い道は家族会議で決めるそうです♪

くじを待つお客様

企業振興のための補助金が充実します!

平成25年4月から企業振興と商業活性化を図ることを目的とした支援内容が充実します。

芦別市新規学卒者等雇用奨励金交付条例、芦別市ふるさと就職奨励金交付条例、芦別市企業振興事業補助金交付条例に基づく事業に対して補助を行うものです。内容については、付録をご覧下さい。

この冬の節電のお願い

節電をお願いしたい期間・時間帯・量
12月10日(月)～12月28日(金) 平日16時～21時
1月 7日(月)～ 3月 1日(金) 平日 8時～21時
3月 4日(月)～ 3月 8日(金) 16時～21時
7%以上※の節電にご協力をお願いします。

※上記期間・時間帯における、それぞれの事業者さまの一昨年同月の使用最大電力(kW)の値などを目安とした基準。

アクサ生命 redefining / standards
ますます充実!
保険を「再定義」する
アクサの医療保険シリーズ
アクサの 一生の保障 医療保険 プライム1
アクサの 一生の保障 医療保険 プライム2
新登場 先進医療 まるごとサポート
新登場 アクサの 一生の保障 医療保険 OKメディカル
アクサの 治療の保障 がん保険
アクサのメディカルアシスタンスサービス
あしたも、そのさきの未来も、あなたに笑っていてほしいから。
保険のご相談は、アクサ生命へ。
旭川支社 旭川営業所
〒070-0043 旭川市常盤通1-2500 道北経済センタービル
TEL 0166-23-7986

特定退職金共済制度ご加入のおすすめ

商工会議所の特定退職金共済制度は、負担が小さく掛金が損金または必要経費に算入されます。従業員の退職金を計画的に準備することができて、従業員の意欲向上と定着化に役立ちます。従業員1人に1口2,000円からご加入できます。福利厚生は、商工会議所の「退職金制度」から!

資料請求や問合せは、お気軽にお電話下さい。電話 22-3444

芦別商工会議所共済制度ご加入のおすすめ

商工会議所共済制度の災害保障特約付団体定期保険は、簡単な手続で掛金の負担が小さく、たしかな安心と保証をお届けします。会員・役員・従業員のみなさまとご家族の生活保障を目的としております。

資料請求や問合せは、お気軽にお電話下さい。電話 22-3444